

~“美研”が制作する~ **タッピーの4コマ漫画**



Vol. 6
春のぬくもりを感じて

制作者:美術研究会/木村 さくらさん デザイン学科 3年(福島県 喜多方桐桜高校出身)

Editor's Note
~まぼろしの表紙案~



かなりのアウトドア派なので、友人と登山や旅行に行きます。また、週4ほどジムでトレーニングに励んでいます。

裏側 TACT

Cover Model
いいずみ よしと
飯泉 凱翔さん
経営学科 4年(東京都 大森高校出身)

「大学生活で何かを成し遂げたい」と考え、フィットネス愛好会に所属。約100人が出場する関東予選を勝ち抜き、「全日本学生ボディビル選手権大会」に挑戦し、9位を獲得しました。

TACT公式
ホームページ
<https://tac.takushoku-u.ac.jp/>



「大学からのお知らせ」は
こちらからCHECK!



[SNSはこちら]

X(旧Twitter)
@takushoku_Univ

Facebook
<https://www.facebook.com/TakushokuUniversity>

YouTube
Takushoku University
拓殖大学

Instagram
@takushoku_univ

次号は5月1日発行予定です。

この冊子に関する、ご意見・要望は「広報室」までお願いします。
なお、「学報TACT」は保証人住所宛てにお届けしており、ホームページからもご覧になれます。

【保証人の皆様へ】
保証人の方の送付先変更は電話では受け付けておりませんので、学生本人が学務課に直接届け出てください。



あたらしい自分が見つかる! 拓大生活応援メディア

TACT 学報



特集
「大学で私、
こんなこと」を
がんばりました!

女子陸上競技部の躍動

学生チャレンジ企画成果報告発表会

拓大ACTIVE!
雄弁会

Teacher's Eye
藍澤 淑雄 教授

遺贈寄付のご報告

麗澤会News

語劇祭REPORT

文連主催イベント『FORMOSA&青春展』

~“美研”が制作する~
タッピーの4コマ漫画

裏側TACT



2.3
2024 VOL.392

大学で私、「こんなこと」をがんばりました!

拓殖大学から社会へと羽ばたいていく4年生。学生生活での経験は、かけがえのない思い出となり今後の財産となるはず
です。この春、卒業を迎える10人の先輩たちに、学生生活で一番がんばったこと、一生懸命取り組んだことを聞いてみました。

私は生活デザインの勉強と
クラブ活動の両立をがんばりました!

生活デザインの授業には特に力を入れており、3年次に参加した美濃和紙あかりアート展では、奨励賞である「あかりの町並み賞」を受賞することができました。作品の制作時期が女子陸上競技部の合宿と重なってしまい、時間がない中での制作でしたが、少しずつ作業を進め、無事完成させることができました。大変な思いをしたからこそ、受賞の喜びもひとしおでした。



美濃和紙あかりアート展で
奨励賞を受賞しました



どい なつみ
土井 菜摘さん
デザイン学科 4年
(千葉県 市立船橋高校出身)

MESSAGE
先生や職員の方は、学生に寄り添い、目標達成のサポートをしてくれます。私も、後輩の皆さんのさまざまな挑戦を応援しています!

私はスペインで刺激的な
半年間を過ごしました!

入学前から留学することが目標でしたが、コロナ禍で海外への渡航も制限されており、実現できるか不安でした。しかし、できる限りの準備をして努力した結果、3年次にスペインのサラマンカ大学で半年間学び、目標を達成することができました。初めはパワフルなラテンの雰囲気に圧倒されましたが、語学力も上達。毎日が刺激的で日本に帰りたいなくなるほど楽しかったです。



長期研修プログラム
でスペインへ留学しました

MESSAGE
留学したい気持ちが少しでもあればぜひチャレンジを! 現地での学修はモチベーションが大きく変わります。



ふくだ かつや
福田 勝也さん
スペイン語学科 4年
(神奈川県 藤沢西高校出身)



まつなが
松永 ジョージさん
国際学科 4年
(千葉県 拓殖大学紅陵高校出身)

私は相撲部に
時間と情熱を捧げました!

MESSAGE
大学生活はメリハリをつけて「遊ぶときは遊び、やるときはやる!」ということが何よりも大切です。



同じ釜の飯を食べた仲間たちとの
毎日が思い出です

拓殖大学での4年間は、学業に加え、クラブ活動にも熱心に取り組みました。2023年に大分県宇佐市で行われた宇佐大会では、拓殖大学が50年ぶりに優勝を決め、数々の主要な大会でも好成績を取ることができました。試合を通じて、困難を乗り越えるために協力し合うことの大切さを学び、共に戦う仲間たちとは絆が深まりました。4年間辛いこともありましたが、支えてくれた監督や仲間、両親に感謝したいと思います。

T-Lashの活動で
異文化交流に取り組みました



MESSAGE
失敗を恐れずに挑戦してほしいです。学生生活での経験は必ず大きな財産になります!



きむ めいじん
金 玟姪さん
国際日本語学科 4年
(韓国出身)

私は留学生と日本人学生との
交流の懸け橋を作りました!

学生同士の交流をもっと深めたいと思い、オレンジプロジェクトのT-Lashに参加しました。コロナ禍でしたが、異文化交流ラウンジでイベントを開催し、外国人留学生と日本人学生とのコミュニケーションの場を作ることに注力しました。さまざまな国からの留学生とともに日本語を学び、多角的な視点を養うことができたと思います。



子ども食堂で 異文化交流イベントを行いました

私は世界の料理に関心を持ってもらうため、大豆ミートを用いて中華料理を作りました!

学生チャレンジ企画を通して、八王子市の子ども食堂で環境問題や海外の食文化について知ってもらうイベントを実施しました。当日は大豆ミートを用いて中国の食文化に関する活動や留学生との交流体験を行い、チャレンジ賞をいただきました!この経験を発信するため、朝日教育会議での発表やTBSラジオに出演したことは思い出深いです。

MESSAGE

今置かれている環境と、与えられたチャンスを最大限いかして、学生時代にしかできないことを楽しんで!



さいとう みそら
齊藤 美空さん
国際学科 4年
(東京都 松が谷高校出身)



MESSAGE

興味があることには飛び込んでほしいです。ちなみに、三歌月は楽譜が読めなくても参加できます!

えんどう りょうじ
遠藤 隆治さん
デザイン学科 4年
(埼玉県 越谷総合技術高校出身)

私は大学で初めてアカベラに挑戦しました!

大学で新しいことに挑戦したいと思い、アカベラ同好会「三歌月」へ入りました。先輩方のアカベラを聴き、その魅力と楽しさにハマリ、どっぷりサークル活動にのめりこんだ学生生活でした。ライブを聴いてくださった方が笑ったり泣いたり感情をあらわしてくれたときは、いいパフォーマンスができたなと嬉しい気持ちに。観客を巻き込んでライブができるいい仲間に出会えました。



みんなで歌う楽しさに ハマった4年間でした



さくま ゆい
佐久間 優衣さん
経営学科 4年
(東京都 王子総合高校出身)

MESSAGE

大学生生活の4年間で、何かひとつでも頑張ると見違えるほど成長できます。何かに熱中して頑張ってください。

私はNRC_KL杯に向けて、半年間、全力で準備に取り組みました!

2年次から所属した田嶋ゼミナールでの最も重要な行事がNRC_KL杯です。他大学の学生と研究発表を競い合うもので、私のグループも優勝を目標に、夜遅くまで作業や話し合いを重ねました。結果は惜しくも準優勝。辛いときもありましたが、とても充実した楽しい半年間でした。ゼミのおかげで自分の意見を伝えることに自信が持てるようになりました。

※株式会社日本リサーチセンターが後援するマーケティングを研究する大学間で行うコンペ。2001年から始まり、毎年12月に行われる

NRC_KL杯*ゼミナール交流研究発表会で 準優勝しました



外国語学部から唯一の塾生として

ひたすら勉強に取り組みました



あきやま しょうた
東岩 司さん
英米語学科 4年
(埼玉県 川越東高校出身)

MESSAGE

自分の道を切り拓くチャンスがたくさんある場所が拓殖大学です。いろいろなことにチャレンジしてください!

私は桂太郎塾での活動に力を尽くしました!

さまざまな業界の知識人や実業家とつながることのできる桂太郎塾は、難しい選抜試験はあるものの「チャレンジしたい!」と入学前から思っていました。塾生のほとんどは商学部や政経学部の学生で、知識量の差を感じていましたが、ひたすら勉強し、集団討論や論文発表に取り組んできました。おかげで「耐力」が付き、何事にも楽しさを見出せるようになりました。

MESSAGE

諦めずに夢に向かって進めばどんな経験も人生の財産に。毎日を大切に、充実した学生生活を送ってください!



たからだ ゆか
財田 裕佳さん
法律政治学科 4年
(東京都 富士見高校出身)

周囲と協力して

物事を成し遂げる

大切さを学びました



私は1期生として学生主体で魅力あるゼミを作りました!

憲法や行政法の判例を素材として研究を行う菅谷ゼミナールの1期生として、みんなで切磋琢磨できる環境を作ってきました。2期生募集時には、先生やメンバーと協力して親しみを持ってもらえる動画や資料を作成。学生同士で何度も議論し、内容の改善に努め、参加しやすい環境を作ることができました。丁寧に指導してくださった菅谷先生にも感謝しています。

私は麗澤会海外派遣団に参加、ブラジルを訪問しました!

2023年、歴史ある海外派遣事業の麗澤会海外派遣団に参加し、ブラジルを訪問。自分にとって初めての海外渡航でしたが、企業の経営者の話を聞いたり、拓殖大学の卒業生や現地の学生と交流することで、視野が広がりました。ブラジルの学生とは今でもSNSでつながっており、交流があります。勇気を出して日本の裏側へ行って本当によかったです。



サンパウロの大学生と SDGsをテーマに交流しました

MESSAGE

拓殖大学は海外に行く制度が多くあります。ぜひその環境をいかし、積極的に行動してみてください!



ごとう としのり
後藤 利規さん
経営学科 4年
(東京都 正則高校出身)

女子陸上競技部の躍動

12月30日(土)に行われた「2023全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)」。本学の女子陸上競技部は総合7位を果たしました。今後ともより一層のご支援とご声援を、よろしくお願いいたします。

M高史による
レースレポート!!

富士山女子駅伝7位入賞!



富士山女子駅伝は7区間43.4km、富士山本宮浅間大社前をスタートし、風光明媚な富士山の麓を駆け抜けて、仲間が待つフィニッシュ地点の富士総合運動公園陸上競技場に戻ってくるコースで行われます。

1区 岩崎麻知子選手
「3kmまで先頭集団でしたが、ラスト1kmを切って足が追いつかなくなりました。ラストスパートをかけて2人抜いて6番目で渡せたので、今出せる力は出し切れました」

2区 小野真緒選手
「早く入りすぎないように意識していました。思うように足が動かなかったですが、後半で少し巻き返すことができ、決して良い走りとは言えませんが、今出せる力は出し切れたと思います」

3区 池主茉弥選手
「前を走る大東文化大学とは、6秒差で襷をもらい、同じ間隔で走っていましたが、なかなか抜けませんでした。ラスト300mで玉川大学を抜いて1つ順位を上げました。監督から事前に10分27秒で区間3位以内と言われていたので、思った以上の走りことができました」

4区 土井菜摘選手
「3分20秒で押していくのを目標にしている、前のチームがだいぶ近づいていたのがわかりました。引退レースというのもあって最後出し切れたと思います。沿道からも「拓大!」と聞こえて楽しい気持ちで走ることができました」



©YAGI Toshihisa

5区 山田愛選手
「中間点まではリズムよくいけました。自分がエース区間(5区)の中で力が下の方というのはわかっていたので、落ち着いて、自分の走りをしようと思い、設定タイム通り走ることができました」

6区 片桐紫音選手
「全日本大学選抜チームを2km過ぎで抜きましたが、ラスト1kmを切ってから玉川大学に抜かれてしまいました。アンカーに前が見える位置で渡せたのはよかったと思います」

片桐選手は全日本大学選抜チームを抜きましたが、玉川大学に抜かれ、順位はそのまま11位。アンカーの新井選手へ襷を託します。

7区 新井沙希選手
「監督から区間賞をめざすように言われ、上りが強みなので3km以降ペースを上げていきました。区間賞は本当に取れると思っていなかったの、喜びよりも驚きの方が大きいです。昨年は、最後に競技場で抜かれて悔しかったので、今年は勝ち切れたのでよかったです。チームにも少しは貢献できたかなと思います」



©YAGI Toshihisa

昨年度、区間2位の快走を見せた新井選手は区間賞を獲得し、4つ順位を上げて7位に。競技場内での東北福祉大学との激しいトラック勝負も制し、1秒でも前へ、1つでも上の順位にという思いが伝わってくる熱い激走を見せました。

(文 M高史)

M高史

1984年生まれ。ものまねアスリート芸人。中学で陸上をはじめ、駒澤大学では2年次に陸上競技部のマネージャー、3年次から主務を務める。テレビ・ラジオ出演のほか、マラソン大会のゲストランナーや部活訪問などを中心に活動。大学スポーツWEBサイト4years.の連載、日本陸上競技連盟の陸ジョブナビなど執筆活動もこなっており、五十嵐監督との親交も深い。



富士山女子駅伝の結果 2023.12.30

富士宮市・富士山本宮浅間大社～富士市・富士総合運動公園陸上競技場

[総合順位]

順位	大学名	総合記録
1位	名城大学	2:22:42
2位	日本体育大学	2:24:04
3位	大東文化大学	2:24:24
4位	立命館大学	2:25:13
5位	大阪学院大学	2:26:23
6位	城西大学	2:26:37
7位	拓殖大学	2:26:59
8位	東北福祉大学	2:27:01
9位	大阪芸術大学	2:27:29
10位	中央大学	2:27:34
11位	全日本大学選抜	2:28:07
12位	関西大学	2:28:49
13位	玉川大学	2:29:09
14位	立教大学	2:30:19
15位	城西国際大学	2:30:35
16位	順天堂大学	2:31:01
17位	東洋大学	2:31:47
18位	亜細亜大学	2:32:28
19位	中京学院大学	2:32:35
20位	東京農業大学	2:32:59
21位	筑波大学	2:33:17
22位	関西外国語大学	2:33:32
23位	神戸学院大学	2:35:30
24位	静岡県学生選抜	2:38:13

[リザルト] 43.4km(7区間)

第1区 (4.1km)	総合6位 13:17 区間6位 13:17	いわさき まちこ 岩崎 麻知子選手 国際学科 1年(福島県 学法石川高校出身)
第2区 (6.8km)	総合10位 35:08 区間12位 21:51	おの まお 小野 真緒選手 国際学科 1年(茨城県 茨城キリスト教学園高校出身)
第3区 (3.3km)	総合9位 45:25 区間3位 10:17	いけぬし まひろ 池主 茉弥選手 国際学科 2年(福岡県 自由ヶ丘高校出身)
第4区 (4.4km)	総合8位 1:00:04 区間7位 14:39	どい なつみ 土井 菜摘選手 デザイン学科 4年(千葉県 市立船橋高校出身)
第5区 (10.5km)	総合11位 1:36:22 区間15位 36:18	やまだ あい 山田 愛選手 国際学科 2年(群馬県 高崎健康福祉大学高崎高校出身)
第6区 (6.0km)	総合11位 1:57:11 区間12位 20:49	かたぎり しおん 片桐 紫音選手 国際学科 3年(埼玉県 川口市立高校出身)
第7区 (8.3km)	総合7位 2:26:59 区間1位 29:48	あらい さき 新井 沙希選手 国際学科 2年(神奈川県 秦野高校出身)



学生チャレンジ企画 成果報告発表会

2023年12月9日(土)、第14回学生チャレンジ企画の成果報告発表会が文京キャンパスで行われました。チャレンジ力やチームワーク、目標への達成度などが総合的に審査され、より大きな成果が見られた団体へ副実行委員長である寺家村博先生より各賞が授与されました。

チャレンジ大賞

団体名 **学生ボランティアチーム Lapu Lapu**

講評 寺家村 副実行委員長

とても拓殖大学らしい企画で、海外とのつながりを持っており「非常にこの大学の特徴が出ていた」と、審査員の意見がたくさんありました。また、紅陵祭の展示もよく工夫されていました。さらに、これは大事なことですが、皆さんの想いが伝わってきました。開会の挨拶のときに「ご自身の言葉でお話いただけると嬉しい」とお話ししましたが、審査員のみなさんに言葉が届いたと思うことだと思います。

ボランティア&交流プロジェクト in the philippines
～離島の子供たちにもっと笑顔を～
「離島の子供たちに教育機会を提供したい」

チャレンジ賞

団体名 **サステナPLASアート**

みんなで作ろう! SDGsモザイクアートプロジェクト
「廃プラスチックを使用したアートを通じてSDGsへの理解を促進したい」

チャレンジ賞

団体名 **Health Watchers**

防げるがん: フォーカス・フューチャープロジェクト
「ワクチンや健診の正しい理解を促進し健康について考えるきっかけづくりをしたい」

奨励賞

団体名 **MTP(Milk To Plastic)**

生分解性プラスチックの認知拡大と新たな可能性の提案
「牛乳の大量廃棄問題を生分解性プラスチックで解決したい」

奨励賞

団体名 **北の恵みプロジェクトチーム**

農と学のマルシェ ～北海道と東京をつなぐ～
「北海道と東京の協働で陸の豊かさを守りたい」

受賞団体の企画内容やコメントはコチラ

学生チャレンジ企画 は、**2024年度も実施予定です。**
ホームページにて、春季に募集要項などの詳細を掲載します。



拓大ACTIVE!

拓殖大学課外活動

雄弁会

毎週木曜日、文京キャンパスH館2階と、八王子国際キャンパスの学生交流会館341号室にて活動中。現在は1～2年生を中心に10人の会員が活動中。プレゼン術の修得や他大学の学生との交流に関心のある方へおすすめです。SNSもありますので、興味のある方はぜひのぞいてみてください!



東京大学安田講堂 東京大学総長杯争奪全国学生弁論大会に出場する小森武尊さん(デザイン学科1年)

あらゆるテーマの知識を学びながら、人前で話す技術を磨いています

創部から100年を超える歴史ある団体——。それが拓殖大学雄弁会です。

拓殖大学の前身である台湾協会学校設立5年後の1905年から「言論部」として存続する、長い伝統を誇る学内最古の学生団体のひとつです。

「部長である丹羽先生の『政治学入門』の授業が面白好きだったことから、雄弁会への入会を決めました。自分が興味を持ったテーマを整理し、わかりやすい言葉で多くの人に伝える。難しい作業ですが、非常にやりがいを感じています」と委員長の吉田周さん(経済学科2年)。

雄弁会では、年に10回ほどある弁論大会へ向けて、日々技術を磨いています。

「準備は会員同士で協力して行います。テーマを決め、関連する書籍や論文などを読んで情報収集し、原稿を作成。それをさらに会員同士でブラッシュアップさせながら発表の練習を重ねます」

最近の大会では、生物多様性、有害図書、軍事、野球など幅広いジャンルのテーマを選びました。

「発表者本人の伝えたい内容について、会員同士で『納得できる内容か』『初めて聴いても理解できるか』『客観的事実に基づいているか』などをチェックし、添削を行います。私たちはそれを「穴を埋める」と呼んでいますが、この作業は意外にも楽しくてやりがいがあります」

大会では内容はもちろんのこと、声のトーンやアクセント、質疑応答



後列左から/森下蓮さん(法律政治学科1年)、吉田周さん(経済学科2年)
前列左から/森脇一磨さん(国際学科1年)、飯野起吉さん(地方政治行政研究科1年)

での対応力なども審査対象となります。

「後輩が大会へ出るごとに、スピーチに抑揚やメリハリが出て、徐々にレベルアップしていくのを感じています。雄弁会に参加しているメリットは、人前で話す力がつくことに加え、豊富な知識が得られることです。大会へ出ると、『聴かせる』弁論ができる方がたくさんいらっしゃるの、いい刺激を受けています」

吉田さんは2年生にして委員長となり、部内のマネジメントやマニュアル作成にも尽力しています。

「コロナ禍で活動が止まってしまったことで、これまで先輩方が築いてきた弁論の基本スタイルや情報収集の方法などの引き継ぎまでストップしてしまいました。手探りで再開したこともあり、地盤を固めていくためのマニュアル作りをスタートさせました。私自身、これまで先頭に立つことがなかったのですが、次の代まで伝統をつないでいけるよう責任を持って卒業まで取り組んでいきたいと思っています。そして、この伝統をつなぐ仲間を募集しています。一見堅苦しく思えますが、弁論のテーマは自身の興味のある分野で挑戦可能です。ぜひ気軽に見学しにきてください」



年間の主な活動

- 4月 新歓活動
- 5月 東京大学5月祭記念弁論大会
- 6月 国学院大学学長杯 新人弁論大会
- 7月 夏合宿、春秋杯争奪全日本学生雄弁大会
- 10月 桜門杯争奪全日本学生弁論大会
拓殖大学学長杯争奪全日本学生雄弁大会 ほか1大会
- 11月 大隈杯争奪雄弁大会
- 12月 東京大学総長杯争奪全国学生弁論大会 ほか1大会
- 2月 全日本学生弁論大会 ほか3大会

雄弁会の最新情報はコチラ!

X



@takudai_yuben

拓殖大学課外活動ポータルサイト

ログインインタビューはWEBへ!
<https://act.takushoku-u.ac.jp>



研究最前線

Teacher's Eye



国際学部
あいざわ よしお
藍澤 淑雄 教授

新潟県出身。東京大学大学院修了。博士(国際協力学)。1990年に青年海外協力隊員、1997年に国際開発センター研究員・主任研究員、2013年に秋田大学国際資源学部・国際資源学研究科准教授、2019年には拓殖大学国際学部准教授を経て現職。著書に「アフリカの零細鉱業をめぐる社会構造 貧困解消に向けたタンザニアの零細鉱業支援のあり方」(日本評論社)などがある。

研究テーマ **地域の人と社会の関係の中から生まれる価値創造**

**地域の価値を作るのは「豊かさ」
人同士のつながりや支え合いが基盤**

国際協力学に興味を持ったのは、青年海外協力隊での経験がきっかけです。派遣されたバブアニューギニアでは、日々新しい発見があり、日本とは全く異なるものの見方と価値観が存在。日本で生まれ育ったことにより形成された私の見方や価値観は、この場所でどういう意味を持つのかと考えるようになりました。その頃から「地域にとって意味のある国際協力とは何か」ということに関心が向き、現在の仕事に繋がっています。

私が事例研究を行っている国の一つにタンザニアがあります。タンザニアは鉱物資源が豊富な国で「零細鉱業」を生計手段としている人が多くいます。零細鉱業とは、金やダイヤモンドのみ鉱石をはつり鑿やハンマーなどの手工具を使って採掘する、小規模で

労働集約的な採掘業のこと。金は当てれば文字通り一攫千金ですが、簡単に掘り当てられるわけではありません。金鉱石が含まれているかもしれない岩盤まで掘り進むのに1か月かけたとしても、金鉱石が出ないことも多いのです。危険な作業で物理的なリスクだけでなく、金鉱石が出ないことによる生計リスクも生じます。採掘作業に高度な技術は必要ありませんが、手作業のため非常に効率が悪く、貧困のサイクルを悪化させる可能性が多々あります。

なぜ、零細鉱業者たちは貧しい状態が続くのをわかっているから採掘を続けることにこだわるのでしょうか。現場を調べると、一緒に採掘する仲間との支え合い・助け合いで生活を成り立たせていること、生業の農業とうまく両立させていることなどがわかってきました。仲間内でお金を出し合って基金を作り、困ったときにお金を借りられる仕組みや、複数の零細鉱業グループで組合を作り、組合全体の利益とし

て分配することで、組合員が生計リスクを回避できる仕組みを創出しているケースも見られました。彼らなりに小さな価値を創造しながら暮らしを成り立たせていたのです。

このように、「地域の「価値創造」に目を向けながら研究を行っています。価値とは結局のところ「豊かさ」と関係があり、その「豊かさとは何か」という問いにつながると考えます。私は、特に非物質的な豊かさを重要視しています。非物質的な豊かさとは、人同士のつながりや支え合いによりもたらされ、共有された社会的意識により支えられているものだと思います。そして地

域に価値創造をもたらす基盤になっているのではないかと考えているのです。



坑道から出てくる零細鉱業者

国や地域の違いを肌で感じることは、人生を豊かにする!

研究の面白さ

新しい価値を創造できたときの高揚感

「知の冒険」という言葉がよく使われますが、研究の面白さは、まさにそこにあると思っています。過去に研究者たちが成し得た成果の中から、自分が探している研究のエッセンスを見つけたときはとてもワクワクします。また、先人たちの研究に1ミリでも新しい価値を加えられたときは、非

常に高揚感があります。その1ミリの価値が、「もしかしたら人類を進化させるかもしれない」と考えると、そこに研究者の社会的意義があるのかなと思っています。学生のみなさんも多様で複雑な世界に身を置いて、たくさん刺激を受けてください。ワクワクしながら学生生活を楽しんでほしいです。



私が学生の時に影響を受けた一冊。近代化路線の発展がもたらした地球規模の課題を解決する手がかりとして、地域の内発性に目を向け、理論的考察と事例研究を行っています。「内発的発展論」(東京大学出版会)



ロクウライ村の様子



ゼミ生と取り組むプロジェクト

マレーシアと八王子・館ヶ丘団地でのプロジェクトが進行中

ゼミナールでは、2019年から、2つのプロジェクトを進めています。ひとつはマレーシア・サバ州コタキナバル市にあるロクウライ村のプロジェクトです。ロクウライ村の水辺にはゴミが山積しており、問題も深刻化しています。ゼミではこの村にゴミ袋を設置したり、住民たちとゴミ拾い活動を行いながら、住民主体の効果的なゴミ問題の解決方法を模

索しています。また、国内の活動として、八王子国際キャンパス近隣の館ヶ丘団地で「暮らし向上プロジェクト」を行っています。市内で最も高齢化が進む団地で、防災訓練の実施、団地祭りへの参加、多世代間交流のイベントなどを通して、変容する地域での学生のかかわり方を模索しながら、住民の方との交流を深めています。



学生たちによるロクウライ村での社会調査

在学生へのメッセージ

**直接、地域に関わって
たくさんのインプットをしてほしい**

外の世界へ一歩出ると、今まで自分が理解・解釈していたことが全く通用しないことはよくあります。異なる世界の見方、考え方に触れることは新しい刺激を得られる重要な経験です。挫折を招くこともあるかもしれませんが、体で感じる大きな学びをもたらし、人生を豊かにしてくれます。私のゼミは「失敗するゼミ」でいいと考えています。それは成功も失敗もすべてが貴重な経験になり、成長のためのインプットになるからです。地域に関わることで、多様で複雑な世界に身を置くことは全てがインプットです。本からは得られない大きな学びとなります。そこで受ける刺激を自分なりに咀嚼してアウトプットしてほしいと思います。



遺贈寄付のご報告

故梶原光恵様(故梶原弘和元教授御令室)から遺贈によるご寄付をいただきました。
 故梶原弘和元国際学部教授は、生前、外国人留学生の受け入れや教育・研究にご尽力されました。ご寄付につきましては、御令室の故梶原光恵様のご遺志により「学校法人拓殖大学外国人留学生教育基金」に組み入れ、外国人留学生の教育・研究や奨学支援に使用させていただくことになりました。
 お二方の思いを受け継ぎ、ご遺志にかなうような成果をあげられるように引き続き努めて参ります。

RITAKUKAI 麗澤会 News

柔道部

吉田選手と廣島選手が優勝

試合名 湊谷杯全国学生体重別選手権大会
開催日・会場 11/18(土)・19(日) 石川県・松任総合運動公園柔道場
試合結果 81kg級 **優勝**
 吉田 凌梧(経済学科3年 和歌山北高校出身)
 100kg級 **優勝**
 廣島 南(経済学科3年 札幌山の手高校出身)

川崎主務コメント「いつも練習していることを試合で出すことができ、結果を残せたので良かったです。今回の試合は個人戦だったので、まわりの声援がとても力になりました。団体戦もチーム一丸となって頑張りたいです。これからも柔道部への応援をよろしくお願いします。」



(左)吉田選手 (右)廣島選手

レスリング部

三浦選手が優勝

試合名 天皇杯全日本選手権
開催日・会場 12/21(木)～24(日) 国立代々木競技場第二体育館
試合結果 フリースタイル 92kg級 **優勝**
 三浦 哲史(国際学科3年 網野高校出身)
 グレコローマンスタイル 63kg級 **準優勝**
 萩原 大和(経済学科4年 花咲徳栄高校出身)
 63kg級 **3位**
 澤田 幸明(経済学科3年 和歌山北高校出身)
 72kg級 **3位**
 三多見 明(経済学科4年 滋賀県 日野高校出身)



三浦選手

女子バスケットボール部

総合3位

試合名 全日本大学選手権大会
開催日・会場 12/2(土)～10(日) 国立代々木競技場第二体育館 ほか
試合結果 総合3位
 優秀選手賞・3ポイント王 狩野 美里(経営学科4年 埼玉栄高校出身)

相撲部

団体で3位、松永選手がベスト8

試合名 全国学生選手権大会
開催日・会場 11/4(土)・5(日) 大阪府・堺市大浜公園相撲場
試合結果 団体 **3位**
 個人戦 **ベスト8** 松永 ジョージ(国際学科4年 拓殖大学紅陵高校出身)



五島選手がベスト8

試合名 全日本選手権大会
開催日・会場 12/3(日) 両国国技館
試合結果 **ベスト8**
 五島 雅治(国際学科3年 箕島高校出身)

サッカー部

2024シーズンより加入決定

柏レイソル(J1リーグ) 関根 大輝(経営学科3年 静岡学園高校出身)
 サガン鳥栖(J1リーグ) 日野 翔太(経済学科3年 堀越高校出身)

ボクシング部

横山選手が3位

試合名 全日本選手権大会
開催日・会場 11/21(火)～26(日) 墨田区総合体育館
試合結果 フェザー級57kg **3位**
 横山 葵海(国際学科4年 浪速高校出身)

アーチェリー部

佐藤選手が3位

試合名 関東学生インドア個人選手権大会
開催日・会場 12/23(土)・24(日) BumB東京スポーツ文化館
試合結果 リカーブ男子 577点 **3位**
 佐藤 暁(機械システム工学科4年 登米総合産業高校出身)

バスケットボール部

ベスト16

試合名 全日本大学選手権大会
開催日・会場 12/2(土)～10(日)、16(土)・17(日) 国立代々木競技場第二体育館 ほか
試合結果 ベスト16

空手道部

竹平選手がベスト8

試合名 関東学生体重別選手権大会
開催日・会場 10/29(日) 東京大学御殿下記念館
試合結果 男子個人組手-60kg **ベスト8**
 竹平 涼真(経営学科3年 星城高校出身)

競技継続予定者(抜粋)

卒業後も
たくさん
の
声援を
お願いします

サッカー部

浅倉 康
 (国際学科4年 静岡学園高校出身)
 所属チーム名 藤枝MYFC(J2リーグ)

加藤 悠馬
 (経営学科4年 須磨翔風高校出身)
 所属チーム名 いわきFC(J2リーグ)

青島 浩輝
 (経済学科4年 浜松開誠館高校出身)
 所属チーム名 FCマルヤス岡崎(JFL)

下口 竜空
 (経済学科4年 国際学院高校出身)
 所属チーム名 沖縄SV(JFL)

女子バスケットボール部

狩野 美里
 (経営学科4年 埼玉栄高校出身)
 所属チーム名 ミツウロコ

木村 真唯
 (経済学科4年 開志国際高校出身)
 所属チーム名 TOTO

吉田 真子
 (経済学科4年 八雲学園高校出身)
 所属チーム名 三井住友銀行

バスケットボール部

榊原 啓斗
 (経営学科4年 能代工業高校出身 現:現代科学技術高校)
 所属チーム名 仙台89ERS(B1リーグ)

神田 壮一郎
 (国際学科4年 福岡第一高校出身)
 所属チーム名 ラインズゼファー福岡(B2リーグ)

ジョフ ユセフ
 (国際学科4年 開志国際高校出身)
 所属チーム名 湘南ユナイテッドBC(B3リーグ)

ボクシング部

横山 葵海
 (国際学科4年 浪速高校出身)
 所属チーム名 志成ボクシングジム(プロ転向)

高 優一郎
 (経済学科4年 石川県・工業高校出身)
 所属チーム名 横浜光ボクシングジム(プロ転向)

日向 和輝
 (経済学科4年 習志野高校出身)
 所属チーム名 角海老ジム(プロ転向)

ラグビー部

Sword Izi John Te Ariki
 (国際学科4年 アングリカン・チャーチ・グラマール・スクール出身)
 所属チーム名 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ
 (JAPAN RUGBY LEAGUE ONE ディビジョン1)

奥田 勇志
 (経済学科4年 新潟工業高校出身)
 所属チーム名 セコムラグッツ
 (トップイーストリグAグループ)

柴田 祥太郎
 (経済学科4年 秋田中央高校出身)
 所属チーム名 秋田ノーザンブレッツ
 (トップイーストリグAグループ)

井上 旭
 (経営学科4年 長崎南山高校出身)
 所属チーム名 JR九州サンダース
 (トップキョウシュウリーグA)

レスリング部

萩原 大和
 (経済学科4年 花咲徳栄高校出身)
 所属チーム名 自衛隊体育学校

塩谷 優
 (国際学科4年 自由ヶ丘学園高校出身)
 所属チーム名 自衛隊体育学校

竹下 航生
 (国際学科4年 高松北高校出身)
 所属チーム名 警視庁

野球部(硬式野球)

和田 流希哉
 (経済学科4年 常総学院高校出身)
 所属チーム名 株式会社ハナマウイ

児島 由伸
 (国際学科4年 竹筧高校出身)
 所属チーム名 大分B-リーグス

黒河 竜司
 (国際学科4年 英明高校出身)
 所属チーム名 全府中野球倶楽部

山越 健司
 (国際学科4年 千葉明德高校出身)
 所属チーム名 株式会社鷺宮製鉄所

野球部(軟式野球)

板倉 大和
 (国際学科4年 日本ウェルネス筑北高校出身 現:日本ウェルネス長野高校)
 所属チーム名 JA長野厚生連 北信総合病院

柳本 康希
 (国際学科4年 片倉高校出身)
 所属チーム名 青梅信用金庫

柿澤 拓海
 (国際学科4年 千葉経済大学附属高校出身)
 所属チーム名 青梅信用金庫

古澤 怜大
 (国際学科4年 明德義塾高校出身)
 所属チーム名 株式会社スリーポンド

2・3月のイベントインフォメーション

アーチェリー部

●2/28(水)・29(木)
 全日本学生室内個人選手権大会
 (長崎県・長崎県立総合体育館)

重量挙げ

●3/7(木)～9(土)
 全日本学生新人選手権大会
 (埼玉県・上尾市スポーツ総合センター)

陸上競技部・女子陸上競技部

●2/18(日)
 全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会
 (大阪府・ヤンマーフィールド長居および長居公園内特設コース)

※内容が変更になる場合もありますので、詳細は各イベントホームページで確認してください。



語劇祭 REPORT

今年度、第85回となる、語劇祭(キャッチフレーズ『~国境を越えるTin Pan Alley~』)が12月2日(土)・3日(日)の2日間、八王子国際キャンパス麗澤会館90年記念ホールで開催され、盛会裡に終了しました。

拓殖杯

語劇力・舞台装置・演劇・作品の構成等、最も印象に残る劇をした参加団体
【対象:演劇を披露した全団体】

渡邊俊彦ゼミナール
「西遊記
—三打白骨精—」



優秀賞

語劇力・舞台装置・演劇・作品の構成等、拓殖杯に次いで印象に残る劇をした参加団体
【対象:演劇を披露した全団体】

関口美幸ゼミナール&
動画制作愛好会
「お姫様病と魔女病」



新人賞

一年生を対象とし、今後に期待を持つ個人
【対象:演劇を披露した一年生の個人】



楊勝義
(機械システム工学科 1年 中国研究会)

ゲストセレクション

来場者からの注目を浴び、来場者投票で最も多くの票を集めた参加団体
【対象:全企画】



中国研究会「森」

審査員特別賞

審査員の印象に残る催しを行った魅力的な団体
【対象:全企画(対象の団体がある場合のみ)】



アラビア研究会
「أخمن ذلك (当てろ)」

参加団体

外国語劇発表団体(7団体5カ国語)

- アラビア研究会(アラビア語)*
- インドネシア研究会(インドネシア語)
- 英語研究会(英語)*
- 中国研究会(中国語)
- 政経学部渡邊俊彦ゼミナール(中国語)
- 外国語学部関口美幸ゼミナール(中国語)&動画制作愛好会
- テアトロ・チャバーレス/スペイン語学科有志(スペイン語)

※事前収録した動画を上映

文化活動発表団体(5団体)

- ジャズ研究会
- アカペラ同好会
- ビートルズ研究愛好会
- K-POP愛好会[Les Ailes]
- POPLIVE愛好会

FORMOSA

学業や研究活動の成果を発表する場として、今年度で2回目の開催となる「FORMOSA」。未知の分野に対する興味がわき、視野を広げられる機会となるかもしれません。ぜひ、新たな世界の学びや努力の成果をご覧ください。

2024.3.1 金 11:00~

文京キャンパス E館101教室(後藤新平・新渡戸稲造記念講堂)



昨年度は、留学生による日本語スピーチや地域研究を行うゼミナールやサークルの発表などが行われました!

青春展

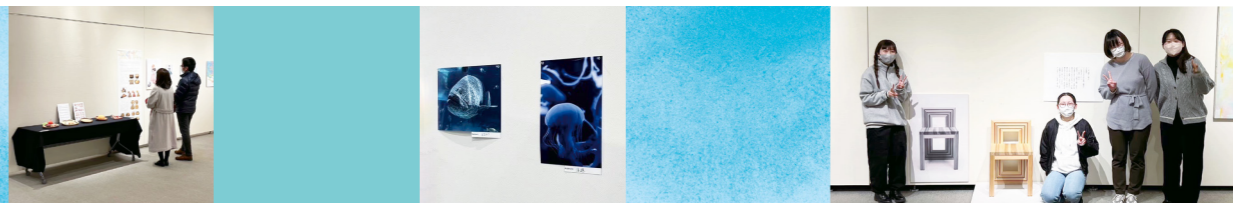


学生たちが1年をかけて制作した絵画や書、写真などの「青春」が詰まった展覧会。

出展団体 美術研究会/書道研究会/写真研究会

2024.3.22 金 午後 -24 日 終日

たましん RISURU ホール(立川市市民会館)
展示室(22~24日)およびギャラリー(22・24日)



麗澤会文化局連合会 主催イベント

入場無料

語劇祭の様子(アーカイブ映像)はコチラ

12/2(土)

<https://www.youtube.com/watch?v=ihUHJ42fUqI>



12/3(日)

<https://www.youtube.com/watch?v=ZtcM6GDCXMM>



※予告なく削除される場合がございます。